

## 市内188例目（県内296例目）の概要

令和3年4月16日公表

4月15日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに1名の方、市内188例目（県内296例目）となる感染者が確認されました。

この方は、松江市在住です。年齢・性別につきましては、ご意向により公表を差し控えさせていただきます。

4月14日に陽性が判明した県外での感染者の濃厚接触者として、同日14日に県外自治体から本市への調査依頼を受け、翌15日にPCR検査を実施したところ、陽性であることが判明したものです。

なお、同日15日に島根県保健環境科学研究所で行った変異株スクリーニング検査の結果、変異株ではないことを確認しています。

患者は、昨日4月15日に感染症対策を講じた県内の医療機関に入院されました。

発症日2日前、4月12日以降が感染可能期間となりますが、市内の立ち寄り先での接触者は特定されており、不特定の方への感染の恐れがあるような行動歴はありませんでした。

発症日2週間前、3月31日以降の調査期間において県外への移動歴はありません。県外自治体の調査により、前述の県外感染者の濃厚接触者として特定され、本市に調査が依頼されたものです。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

政府がまん延防止等重点措置の適用地域を拡大する方針を固めるなど、全国的に対策の強化が図られる中、県外との往来が原因と考えられる感染事例が継続的に確認されています。発熱等の症状がある場合を除き、やむを得ない仕事や、就職活動、看病・看護などでの往来を控えていただく必要はありませんが、人の往来が盛んになる大型連休に向けて特に注意が必要になります。

市民の皆様には、まん延防止等重点措置が適用される都府県との往来を控えていただくとともに、各自治体が住民に対し不要不急の外出自粛を要請している地域への往来については、慎重にご判断いただきますようお願い申し上げます。

また、変異株であっても、基本的な感染予防策は異なることはなく、これまでと同様に有効です。市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本

である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

発熱や咳などの体調不良時には、まず仕事や学校を休んでいただくことが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。

風邪様の症状でも、自己判断せず、まずはかかりつけ医に相談・受診する、積極的に検査を受けるなど、万々に備えた対応をお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。